

四大奉仕セミナー開催報告

担当地区副幹事 新井 恒好

2008年9月6日(土)、富岡市妙義町の妙義グリーンホテルにおいて当地区の「四大奉仕セミナー」が開催された。これは、今年度から地区の特別委員会として位置付けられた地区研修委員会(清章司委員長)が、従来は「奉仕プロジェクトセミナー」として、他のセミナーと抱き合わせるなど様々な形で開催されたものを発展的に独立させ、「四大奉仕の理念」と貴重な情報源となるべき「ロータリーの友」、「ロータリー文庫」等への理解を深める事を目的に企画実施したものである。

セミナーには、各クラブの会長、会長エレクト、クラブ研修リーダー、四大奉仕の委員長、雑誌委員長を中心に地区役員も含めて217名が参加した。

研修の前にまずは腹ごしらえからである。会場に到着した参加者は、会場内に用意された昼食を執り午後1時からの開会に備えた。

プログラムは、ガバナー挨拶、基調講演、ロータリーの友委員の講話、質疑・意見交換、地区研修リーダー挨拶(講評)である。

基調講演では、2007年に「RI超我の奉仕賞」を受賞された国際ロータリー2680地区パストガバナー田中毅先生(尼崎西RC)を講師に迎え、「ロータリーの奉仕理念と実践(変遷)」と題し自らの経験と実践を踏まえたお話しを頂いた。(約90分)

休憩をはさみ、坂内光政地区ロータリーの友委員はロータリーの友やロータリー文庫等の現状について裏話を交えながら話され、情報源として是非活用してほしいと力説された。(約30分)

質疑・意見交換は、田中、坂内、松倉、清、の4氏が質問を受ける形で行われ、会場からの様々な質問の一つ一つ丁寧に答えているのが印象的であった。

最後に、清章司地区研修リーダーから本日の研修を糧にロータリー活動に精進して欲しい旨の講評を頂きセミナーを終了した。

尚、田中毅先生の講演内容の詳細を知りたい方は、松倉ガバナー事務所までご連絡下さい。



質問を受ける坂内委員、田中先生、
松倉ガバナー、清研修リーダー(左から)



挨拶に立つ松倉ガバナー



田中毅先生の基調講演



熱心に聴講する参加者